



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

No.53

2020年10月号

ネット通信 花 便 り



アイランドシティ中央公園・園芸福祉の庭にて

目次

コロナ禍に負けない園芸福祉	P2
～感染症対策と社会活動の両立をめざして～	P3
花に爽やかに癒されて	P4
ひまわりのちから	P5
夏の花で心明るく元気に	P6
初めてのボランティア体験	P7
事務局からのお知らせ	P8

コロナ禍に負けない園芸福祉

代表 谷口 博隆

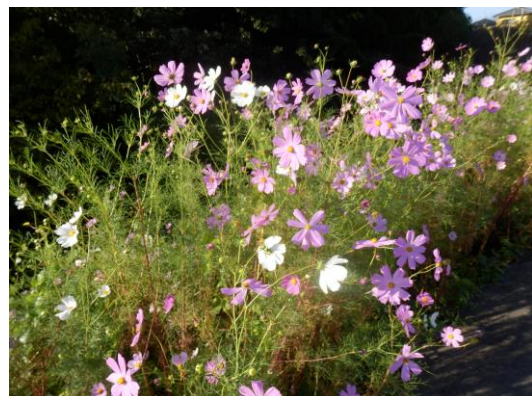
青空のもと黄金色に輝く稲穂にヒガンバナの赤い縁取りが美しい秋を迎え、皆様にはお変わりなくお健やかに過ごしのことと存じます。

園芸福祉ふくおかネットでは、新型コロナから皆様の生命と健康を守ることを最優先に考え、通常総会を書面議決に変更し、定例会議や園芸福祉の庭の作業を一時中止するなど、活動を自粛してまいりました。

そんな中でも多くの会員は、コロナストレスに負けない！！と三蜜を避け、ソーシャルディスタンスを確保しながら園芸活動などを展開されています。その状況などを掲載することで皆様のお役に立てばとの思いでこの花便りを発行することにしました。現在園芸福祉ふくおかネットは、アイランドシティ中央公園の園芸福祉の庭や福岡市役所玄関前花壇の管理、特別支援学校などでの園芸福祉体験などの事業活動を行っています。例年10月に開催されておりましたグリッピーキャンペーン（一人一花サミット）は今回動画配信となりましたので、テーマ花壇づくりについて発表します。これは米倉さんが描かれたデザインを元に準備から花壇が出来上がるまでを紹介するものです。11月29日（日）の定例作業日にみんなで花壇を完成させる様子をプロが撮影する予定です。奮ってご参加ください。

会員の皆様が活動を頑張っている様子を見たり聞いたりすると、すごく嬉しくなります。皆様が日頃活動されている様子や体験談、ニュースなどに写真も添えてメール、ファクス、郵送などで送ってください。花便りの12月号や3月号に掲載するようにいたします。

これから寒くなりますので新型コロナやインフルエンザなどに「感染しない、させない」を実践され、皆様のご健勝でありますように祈念いたします。



～感染症対策と社会活動の両立をめざして～

濱崎 真人（糟屋郡須恵町）

新型コロナウイルス感染への不安がある中で、皆さん如何お過ごしですか？

（自治会活動）

現在も糟屋郡須恵町の自治組織『須恵区』で役員をしていますので、自治会活動の近況から報告させていただきます。須恵区の行事は、毎年4月に120名ほど出席して開催する総会から始まるのですが、今年はいわゆる三密になるということで中止。

5月中旬に新役員を中心に20名ほど出席して総会を兼ねた役員会を開催、やっと新年度の自治会活動がスタートしました。しかし、バレーボールはじめ6種目のスポーツ行事は、全て中止される見込みです。また、大型貸切バス3台を利用して毎年、東区のリーセントホテルで開催していた須恵区最大行事である「敬老会」も中止となりました。

（園芸福祉）

須恵区では、一人暮らしの高齢者の見守りを中心議題に、毎月福祉会議を開催しています。2018年3月の「花便り」で紹介しましたが、元気な高齢者を旨とするを目的に、「園芸」「フラワーアレンジメント」「陶芸」などをテーマにした『ミニディ』を2か月に1回開催してきましたが、これも今年は全て中止となる見込みです。

（杉の子文庫）

須恵区では、児童書を中心に7千冊の蔵書を擁する「杉の子文庫」という区立図書館があり（毎週土曜日開館）私は現在、館長をしています。この図書館も3月から5月は休館。6月下旬より午前中のみ開館、図書館内では読書はできず、貸出と返却のみという形で運営しています。

（元気な高齢者を自覚して）

昨年6月に須恵区コーラスの会「りんどう会」へ誘われ入会し、毎月2回本格的な発声練習、そして昨年9月に須恵町の「アザレアホール（500人収容）」の舞台上でデビュー。「糸、昴、荒城の月」を合唱しました。

「コーラスの会に参加して大声で歌うのは、若返るなあ」と思っていたのですが、これも今は中止。

自宅の家庭菜園は、感染症に負けず、今年もキュウリやトマトは豊作。

現在、さつまいも（金時、紅いも）の栽培中です。5年前に「つる返し」を知らずに失敗したので、今回は同じ轍を踏まないようにしています。



皆さん、感染症に負けずに、この有事を乗り越えましょう！



花に爽やかに癒されて

河村 光江 (筑紫野市)



ソーシャルディスタンス、三密回避、外出自粛。 今年にはコロナウイルスで全世界の多くの人が試練に直面してきました。それは、私たち園芸に携わる者にとっても例外ではありませんでした。

感染予防のために大人数での作業が難しくなり、少ない人員で、かつ距離をとり、マスク着用での作業となりました。それに加え、今年の夏は猛暑と台風、局所的な豪雨が相次ぎ、花壇や草花にとっても大変な時となりました。

私たちが現在管理に携わっている立ち上がり花壇も、1メートル近く高さがあるにも関わらず、川の氾濫により泥水に浸かりました。その影響で花が枯れ、土の入れ替えから行うことになりました。それは一番暑い最中での作業となりました。

しかし、手をかければかける程、花の生命力には驚かされるばかりです。街を綺麗に保つこと、人の心を癒す力を見る時は特にそう感じます。

私の愛読書には、「他の人を爽やかにする人は自分も爽やかにされる」という言葉があります。花壇を見る人を爽やかな気持ちにして差し上げたいと思って行動していますが、実は私自身も爽やかな気持ちになっているのが現状です。

これからも他の人と自分のために、園芸に携わっていきたいと思っています。

このように、人を癒す力をもっている、花をプレゼントしてくださった神様に感謝しています。





ひまわりのちから

溝口 孝夫（京都郡苅田町）

私の勤務する小倉南区にある学校のお話です。新型コロナウイルスの関係で授業は始まらず、学校に生徒がいない日が続きました。サルビアやマリーゴールドなどを植栽した「なかよし花壇」の管理は、いつもの年なら生徒が授業で施肥や除草等の管理をしていますが、今年はそうはいかなくてジャングル状態でした。

学校が再開して、コロナ禍で落ち込んだ気分を回復しようと「コロナに負けないぞ」「学校に元気を取り戻そう」「地域の方にも見てもらおう」という願いをこめて、授業の中で、夏の花の代表である「ひまわり」の種まきを行いました。

生徒は、久しぶりの土の感触を感じながらポットに土を入れ、2粒ずつ種をまきました。種が発芽してどんどん成長する苗を見てびっくりしていました。暑い中でしたが熱中症に注意しながら、道路に面したフェンス沿いに20本の苗を植え付けることができました。今年も暑い日が続き高温で成長が不安でしたが、しっかりと地面に根を張って大雨や大風に耐え忍んでくれました。そして、生徒の願いや夏の日差しをいっばいに浴びて、背丈が2mほどに育ち無事に大きな黄色い花を咲かせてくれました。



「ひまわり」は、見ているだけで元気に明るい気持ちにしてくれる花です。生徒も期待通りの大きな花を見て喜んでいました。また、そばを通って登校する中高生や散歩中の近所の方が眺めてくれていました。コロナ禍の中で、この「ひまわり」が一服の清涼剤になって地域の方の心を和ませ癒しになってくれたのではないかと思います。これからは、花から種を採って、生徒と袋詰めをして優しい心の種を分け合えることができたらと思います。

「なかよし花壇」は、生徒と新しいデザインを考えて、整備をして、季節の花でみんなの目を楽しませたいと考えています。



夏の花で心明るく元気に

小山内 朝香（福岡市東区）

皆さまお変わりありませんか？

新型コロナウイルスの影響で、私が勤務する大濠公園でも、年間に予定している多くの催事が中止となりました。その中のひとつ、夏にたくさんのヒマワリを育てるイベントも中止となり、毎年、楽しみにされている方々からは、残念！という声がたくさん寄せられました。

公園にヒマワリが咲かず、寂しい雰囲気になってしまうことから、代わりに夏の花を咲かせる花壇を作り、公園に来た人たちに楽しんでもらおうということになりました。

定番のヒマワリに加え、長い期間花が楽しめ、手間もかからず、花が可愛いもの…と思案して、ジニアやキバナコスモスなどの種を撒きました。

6月に播種し、7月末から咲き始め、暑さや台風に負けず、かわいい花をたくさん咲かせています。ジニアは色がミックスでとてもカラフルです。



あらためて、植物の生命力や、花がもたらすプラスのエネルギーはすごいなあと思いました。

新型コロナウイルスの影響で何かと暗い話題が多い昨今ですが、元気に咲く草花たちに力を分けてもらい、皆でがんばっていきましょう。秋は夏の疲れが出る季節です。体に気をつけて、また、集まれる日を楽しみにしています。



園芸福祉の庭ボランティア体験

園芸福祉ふくおかネットは、アイランドシティ中央公園内の「園芸福祉の庭」で花活動をしています。園芸福祉をテーマに「車椅子利用の人たちと一緒に楽しむ花壇」、「ストレスを解消する花壇」、「視覚に障がいのある人たちと一緒に楽しむ花壇」、「高齢者の人たちと一緒に楽しむ花壇」、「子どもたちと一緒に楽しむ花壇」など5つの花壇に季節の花を咲かせ、来園者を楽しませています。



9月27日(日) 福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」ボランティア体験プログラム「はじめのイッポ」に申し込まれた堀田さおり様が活動に参加され、感想をお寄せくださいました。

初めてのボランティア体験でしたが、スタッフの皆さまに良くしていただき、楽しく作業することができました。子どもたちから高齢者、様々な人たちに楽しんでいただくための空間づくりや創意工夫は多くのことを学ばせていただきましたし、植物に触れるという普段ではなかなかできないことができる機会が得られたことは、本当に参加して良かったと思います。スタッフの皆さま本当にありがとうございました。新型コロナウイルス感染予防の対策も大変かと思いますが、どうぞお体にお気をつけください。 堀田 さおり

職業技能指導者派遣事業

「博多高等学園」ハンギングバスケットづくり

職業技能指導者派遣事業を福岡市立特別支援学校「博多高等学園」の依頼により今回はハンギングバスケットづくり体験を実施しました。指導者は黒瀬さん、いつもの丁寧な解説と指導でベゴニアを使った作品はきれいに完成しました。終わりに生徒たちに難しかった人と問うと半分くらいが挙手、楽しかった人と聞くと全員が手を挙げました。さらに、講師の説明は分かりやすかったですかと問うとみんな笑顔で拍手を。



そして授業の終わりには沢山の拍手に送られ、園芸福祉的効果があったことを十分に感じる事が出来ました。

そして授業の終わりには沢山の拍手に送られ、園芸福祉的効果があったことを十分に感じる事が出来ました。



来校者を楽しませてくれる
ウエルカム・ハンギングバスケット



事務局からのお知らせ

▶ 園芸福祉ふくおかネット定例会議

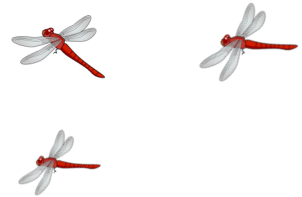
現在、新型コロナウイルス感染防止のため「あすみん」での会議は中止していますので、園芸福祉の庭の定例作業の後で打ち合わせなどを行っています。コロナが収束して会員の安全安心が確保できるようになりましたら皆様にお知らせします。

▶ 「園芸福祉の庭」定例作業

- 定例作業/第2月曜日・最終日曜日
10時～12時（6月～10月は9時～11時）
- ところ/アイランドシティ中央公園
園芸福祉の庭（福岡市東区香椎照葉4丁目）
活動内容は花壇の維持管理（花がら摘み、除草、花苗植込み・撤去、水やり、施肥など）。
作業後は茶話会。活動近況や花の育て方・土づくり、園芸福祉に関するプチ勉強会など。
- 豪雨や気象災害などが予想されるときは中止、次週に変更です。（小雨決行）

▶ 入会手続きのご案内

- 入会を希望される方は事務局（下記掲載）にご連絡下さい。その後下記の口座に年会費2,000円をお振り込み頂き、入金確認後に入会となります。
- 活動と一緒にされているお仲間やお友だちなどで、まだ園芸福祉ふくおかネットの会員でない方がいらっしゃいましたらお気軽にお誘いください。
- お振り込み先/ 西日本シティ銀行 小笹支店
店番 222 普通預金
口座番号 1025817
園芸福祉ふくおかネット 代表 谷口 博隆



● 園芸福祉ふくおかネット事務局 ●

〒810-0033 福岡市中央区小笹 1-9-25

TEL : 090-8626-1586（黒瀬）

FAX : 092-521-6247

E-mail : engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp

URL : <https://www.engeifukusi-fukuoka.net/>

花便り第53号 令和2年10月15日

編集・発行/ 園芸福祉ふくおかネット